

支えあいの家「ほしばさ」を拠点とした、地域の高齢者の見守り支援を進める

☞ 取り組み内容のポイント ☞ 羽咋市金丸出町において、地域の高齢者が集い・語らうことのできる拠点を整備、地元町会による主体的な運営を行うことで、高齢者同士による見守りと地域住民による高齢者を支える体制づくりを進めていく。

石川県

社会福祉法人

眉丈会

〒925-0036 石川県羽咋市の場町稲荷山出口 26 番地 2

TEL：0767-22-5616 FAX：0767-22-5685

●法人創設年

昭和 56（1981）年

●法人実施事業

①経営施設数合計：8 施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…3、通所介護サービス…4、訪問入浴サービス…1、訪問介護サービス…1、居宅介護支援事業…4、グループホーム…2、小規模多機能…2

●法人の理念・経営方針

「居 甲 斐」（I G A I）

利用者本位（Identity）

社会への貢献（Give）

前進（Ahead）

情熱（Intent）

私たちがめざしているのは、ご利用者に「ここに居る甲斐がある」と感じていただくこと。ご利用者が慣れ親しんできた生活スタイルをできる限り継続しながら、日々の暮らしの中でご自身の役割を再認識し、生きる喜びを感じていただくための支援に取り組んでいます。私たちは、地域にとけ込んだ施設づくりとご利用

者の自立に向けた生活支援を進め、地域と共に歩んでいきます。

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款への記載：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：眉丈園在宅介護支援センター 在宅介護支援センター
おうちの里 特別養護老人ホーム眉丈園

【施設種別及び利用定員】：

在宅介護支援センター

特別養護老人ホーム 定員 120 名

●活動内容

◇活動開始年：平成 23（2011）年 10 月

◇活動の対象者：

羽咋市金丸出町・下曾祢町・大町…世帯数 352 世帯（65 歳以上
高齢者：348 人）

◇活動の頻度・時間

毎週月曜日・水曜日・金曜日の週 3 回

午前 10 時～午後 1 時

●活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人では、昭和 57（1982）年の特別養護老人ホーム眉丈園の開設当初から「地域に開かれ、地域と共に歩む施設」をめざしてきた。昭和 59 年 2 月に個人登録会員による独自のボランティア組織「眉丈園友の会」を結成。現在では、施設内ボランティアでのノウハウを地域で活かす「タウンボランティア」の活動を展開している。また、平成 11（1999）年 5 月には、地域の見守り支援の強化を進めるために、それまでの在宅介護支援センター相談協力員を「在宅介護支援連絡員」と改め、羽咋市内全域をカバーする住民に身近な介護相談窓口を主な役割としたネットワーク活動を展開している。しかし、地域に潜在するニーズへの支援体制は十分ではなく、当法人としては、より地域に根ざした地域支援を検討していたところ、「高齢者地域支え合い体制づくり補助事業」が実施されることとなり、この事業を利用して地域の高齢者

と住民がお互いに支え合う体制を構築したいと考えた。

●実施内容

「平成 23（2011）年度高齢者地域支え合い体制づくり事業」として、高齢者が多い地域において、古民家を無償で借り受けて改修し、「支えあいの家ほしばさ」を開所した。毎週月曜日・水曜日・金曜日の週 3 日間、午前 10 時から午後 1 時まで地域の高齢者が集い交流するための拠点として開放している。「ほしばさ」には、毎回約 20 名の方々が訪れ、特別養護老人ホーム眉丈園の入居者 5 名が逆デイサービスとして通い、交流を行っている。また、その高齢者を支える若い世代との交流が行われている。「ほしばさ」での活動は、高齢者のためのサロンだけではなく、高齢者同士が誘い合わせ日中を一緒に過ごすことで、閉じこもりを解消しひとり暮らし等の孤立しやすい高齢者の日中の見守りの役割も担う。また、その高齢者の方々を

支えるボランティアの育成を進めている。その他、高齢者向けの料理教室やボランティア育成講座などの介護教室の開催、周辺地域のひとり暮らし高齢者マップを作成するなど、住民同土地域における見守り・支援体制の大切さを啓発する活動を展開している。その他、地域団体の活動場所としても提供している。

◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

「ほしばさ」には、口コミによって、多くの方々が訪れるようになった。利用者は虚弱な方が多く、地域の体操教室などにはついて行けないが、誰かと会話ができて、少し楽しみもあるという自分のペースで利用したいというニーズに合致したと考えられる。また、週に3日間という設定も利用しやすかったと考えられる。月に2～3回のお楽しみ企画、音楽療法やおやつ作りなどはとても好評である。開所から6か月間の利用状況は、交流日63日、地域高齢者延べ1,206名、1日平均約20名、平均年齢は83歳である。また、逆デイサービスは延べ201名の利用となった。交流時は、地域高齢者が施設入居者に対し、積極的に話しかけるなど施設入居者が地域の高齢者同士をつなぐ役割も果たしている。今では利用者自らが準備や後片付け、庭の草取りなど、できる範囲の運営に関わるようになってきている。また、居宅ケアマネジャーが関わることで、相談受付や情報提供など“地域で地域を支える”活動の展開が行われるようになっている。



～支えあいの家『ほしばさ』の外観～



～ボランティアについて語り合う～

◎今後の展開

「支えあいの家ほしばさ」での高齢者同士による見守り支援と地域の住民による支え合い体制は、徐々に進んできている。この取り組みで学んだことは、地域では多くの団体や個人が、社会的援護を必要としている方々を支援する活動を行っているが、それぞれが独自での活動であることから、連携して活動することができれば、今まで以上の支え合い体制が進むと感じたことである。そのため、平成24（2012）年度は、8月に地域を支える活動を行っている団体等を支援するための拠点として、羽咋市中心部に、「支えあいの家じんしろ」をオープン、多くの団体が「じんしろ」を中心にネットワークを構築し、情報交換と連携した活動を行う場とすることで、新たな地域支援の展開を進める取り組みを開始した。

◎主な経費や財源及び人員等

		※年間あたり	
主な経費（支出）	経費概算額	主な財源（収入）	財源概算額
改修工事	1,830,000 円	地域支え合い補助金	1,580,000 円
備品購入費	758,030 円	法人負担	1,327,631 円
光熱水費	103,179 円		
講座開催費（講師料）	24,000 円		
食料費	192,422 円		
< 合計 >	2,907,631 円	< 合計 >	2,907,631 円

- ・取り組みに係わった職員数〔10〕名
（職種等：介護支援専門員※その他理事長、施設長以下多くの職員が何らかの形で関わっている）
- ・取り組みを実施している施設の事業規模（平成23（2011）年度決算の事業活動収入）〔478,151〕千円
※法人全体の事業規模（同上）〔1,812,284〕千円

支えあいの家ほしばさ

2月の予定

お楽しみ企画

風邪が流行しています。“手洗い・うがい”を忘れずに！

10日（金）元気に体操、冬の体力作り（10:30～）
担当：宮谷 佐和子さん（運動指導員）

15日（水）手懸なすいどケーキ作り（10:30～）
担当：森 雪江さん（管理栄養士）
参加費200円

22日（水）知ってよかった介護サービス（10:30～）
担当：中野 晴美さん（ケアマネジャー）
楽しく歌って介護予防（11:0:30～）
講師：藤木 昌子さん（音楽療法士）

29日（水）歌って予防

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

このからの時期、お天気によってお休みすることがあります。交流日には入り口に黄色の旗を

交流時間等のご連絡は下記の電話番号をお願いします。
☎090-5179-0030

月間お楽しみ企画